

1. 件名：高速炉セシウムエアロゾル試験委託事業に関する成果報告と意見交換

2. 日時：令和3年4月23日（金）13:30～15:50

3. 場所：TV会議

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

石津主任技術研究調査官、藤田(哲)技術研究調査官、園田技術研究調査官、

井上技術研究調査官

学校法人五島育英会東京都市大学 教授 他2名

5. 要旨：

令和2年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業[1]は、高速炉のシビアアクシデント時におけるセシウム化合物エアロゾルの挙動を把握するため、水蒸気雰囲気中でナトリウム化合物が共存する場合のセシウム化合物エアロゾルの挙動に関する知見を実験等によって取得するものである。

本委託事業の受託者である東京都市大学から、成果報告書の内容について説明があった。

原子力規制庁から、ヨウ化セシウムとヨウ化ナトリウムの混合エアロゾルの沈降量の湿度依存性をより明瞭に示すための試験改良案について質問したところ、東京都市大学より、沈着量分布の規格化のためのエアロゾル総発生量の計測、装置端部による外乱を減少させるための試験チャンバーの延長等の回答があった。

6. その他：

[1] 原子力規制庁，“令和2年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業 入札説明書,” 令和2年11月25日公告.